

～子供たちの夢をかなえる教師になる！～

東京教師養成塾通信

発行日 令和2年9月10日
＜第1号＞
発行元 東京都教職員研修センター
研修部教育開発課
電話 03-5802-0318

東京教師養成塾は、東京教師養成塾連携大学や教師養成指定校、学校経営支援センター、区市町村教育委員会との連携を図り、東京都の教員に必要な豊かな人間性と実践的指導力を兼ね備えた人材を学生の段階から養成するために、東京都教育委員会が平成16年度に設置しました。今年度で17年目を迎え、これまでに約1,900名が修了し、多くの修了生が東京都の教員として活躍しています。

「東京教師養成塾通信」は、東京教師養成塾の活動について広く知っていただくことを目的に発行しています。

●第17期（令和2年度3月入塾） 東京教師養成塾 入塾式

令和2年3月7日（土）東京都教職員研修センターにおいて、第17期（令和2年3月入塾）東京教師養成塾入塾式を挙行了しました。東京教師養成塾連携大学の学生である第17期養成塾生98名が、これから始まる養成塾の講座や特別教育実習に大きな希望を抱き、緊張した表情で入塾式に臨みました。

当日は、東京教師養成塾の塾長である東京都教職員研修センター 宇田 剛 所長から、「養成塾での学びを通して、児童、そして保護者からの期待に応えられる教員に成長していくこと、そして東京都の教育を牽引していく人材となってほしい。」と期待の言葉をいただきました。



－塾生代表の言葉－

また、塾生代表が「絶対に諦めないという強い意志をもち、教師への道を切り拓いていきます。」と、決意の言葉を述べました。

今後、第17期養成塾生は、33区市の小学校75校、都立特別支援学校7校の教師養成指定校における特別教育実習や講座を通して、教師としての使命感や実践的な指導力、柔軟な対応力等を身に付けていきます。

●第1回講座

令和2年3月7日（土）に、第1回講座として三つの講義・演習を実施しました。

「特別教育実習で身に付ける実践的指導力～教師に求められる指導力～」

塾生が、特別教育実習に臨むにあたり具体的な課題を設定することをねらいとし、講義・演習を行いました。塾生が、主体的に特別教育実習に取り組むことができるよう、教師の一日の動きについて具体例を挙げながら説明し、それぞれの場面での取り組む姿勢や留意点を確認しました。受講する塾生の表情は希望に満ちあふれており、これから始まる特別教育実習への強い意気込みが伝わってきました。

「あなたもわたしも大切な一人 ～人権感覚を身に付ける～」

この講義は、DVDの視聴を通して、一人一人の児童・生徒を大切にしたい教育活動を行う意義を理解するとともに、教師に求められる人権感覚について考えることをねらいとしています。塾生にとって、自分自身の人権感覚を見直す機会となりました。

「教員の使命と服務」

教育者として責任と誇りをもち、児童・生徒や保護者、社会が寄せる信頼と期待を具体的に理解することをねらいとし、講義・演習を行いました。

塾生は「どのような教師になりたいか」「教師に必要な力とは」について考え、教員の職務や求められる教師像についての理解を深めました。



－DVD視聴の様子－



－教員の使命と服務－

● 第2回講座

令和2年5月25日（月）から6月12日（金）まで、動画による配信で実施しました。

【小学校コース】

- (1) 授業づくりの基礎①国語
ねらい：小学校学習指導要領解説（平成29年3月告示）国語編を踏まえ、国語科の目標や内容、指導のポイントについて理解する。
- (2) 授業づくりの基礎②特別の教科「道徳」
ねらい：道徳教育や特別の教科「道徳」の目標とその関係性や授業づくりのポイントとして、学習指導過程の例を挙げながら、45分の授業の流れについて理解する。

【特別支援学校コース】

- (1) 授業づくりの基礎①各教科等を合わせた指導 一日常の指導—
ねらい：教科等を合わせた指導の必要性、日常生活の指導と授業づくりのポイント、指導におけるティームティーチングを有効に進めるための手だてについて理解する。
- (2) 授業づくりの基礎②アセスメントを生かした授業づくり
ねらい：学習指導要領とアセスメントの関連やアセスメントを用いる目的、実際にアセスメントを生かした授業づくりについて理解する。

【塾生の感想より】

- ①小学校学習指導要領の理解がまだまだ足りないと感じたので、学年ごとの目標や内容を理解し、学習の見通しをもたせた授業を行っていききたい。
- ②小学校学習指導要領を読み込み、各教科の目標や内容を確認し、「どのような資質・能力を育てていけばよいか」、「どのような子供の学びを目指すのか」を今後の講義や演習で学んでいきたい。
- ③国語科において育成する言語能力は、すべての教科の基礎となることを学ぶことができた。
- ④目標とする道徳的価値に自己を照らし合わせて考え、今後の生き方につなげる指導をする重要性について学ぶことができた。
- ⑤動画配信による講座は1回で理解できないところを繰り返し見ることができたり、ワークシートを他の塾生と共有したりできたので、学びを深めることができた。

● 第3回講座

令和2年6月22日（月）から7月3日（金）まで、動画による配信で実施しました。

【小学校コース】

- (1) 授業づくりの基礎③社会
ねらい：小学校学習指導要領解説（平成29年3月告示）社会編をもとに、社会科の目標や学習内容、学習過程などについて理解する。
- (2) 授業づくりの基礎④算数
ねらい：算数科の目標や数学的な見方・考え方や算数科の指導内容について学び、授業づくりを行っていくうえでのポイントを理解する。

【特別支援学校コース】

- (1) 授業づくりの基礎③各教科等に合わせた指導—社会性の学習と生活単元学習—
ねらい：生活単元学習に大切な4つのポイントや単元づくりの手順、また社会性の学習の目標や教育課程上の位置付け、実際の指導例から社会性の学習の流れについて理解する。
- (2) 授業づくりの基礎④多様な学びの支援 ~新学習指導要領「障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫」を実現するために~
ねらい：独立行政法人教職員支援機構の動画を活用し、障害の状態等、一人一人の児童生徒に応じた指導内容や方法の工夫について理解する。

【塾生の感想より】

- ①児童の「できること」だけでなく、「困難さの状態」も把握していくことが大切であることを学んだ。
- ②講座を通して、自己の課題をはっきりさせることができた。「児童に授業の見通しをもたせるよう、工夫すること」を今後の課題に、特別教育実習に取り組んでいきたい。
- ③今回の講座を通して、日頃より児童理解に努め、親近感がある学習課題を提示できるようにすることの重要性を学んだ。
- ④社会科や算数科の授業づくりでは、問題解決の過程から、児童が考えを深めていくことができるよう授業を構想することが大切であることを学んだ。
- ⑤算数科の「自力解決」の過程においては、一つの考えだけでなく別の考えを見いだしたり、友達との考えを比較して考えたりすることが重要であることを学んだ。